

## 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県産業科学館	指定管理者	山形県産業科学館共同管理者
所在地	山形市城南町1-1-1 霞城セントラル内	県担当課 (電話番号)	山形県産業労働部 産業技術イノベーション課  (023-630-2192)
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日		
検証期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

## 1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況

① 管理・運營業務の履行状況	令和3年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休館のまま新年度を迎えることとなり、4月27日から開館したものの、出入口の制限や一部の科学アイテムや展示品の体験を見合わせるなど制限付きの開館となり、1月27日から3月6日までは再度臨時休館となってしまいました。その結果、年間の来館者は大幅な減少となっています。しかしながら、感染防止対策に取り組んだことにより山形県産業科学館に係る感染者が発生しなかったことや、動画による発信や企画展示で工夫をしながら子どもたちに科学や産業に触れ合う機会を提供できたことは、成果と言えるのではないかと考えています。月1回定期的に、県、産業科学館、指定管理者の情報交換会を開催し、管理・運営のための情報共有に努めました。そのような中、6月末に来館者600万人を達成することができ、皆様に親しまれてきた賜物と思っております。	評価  A	<<評価の理由>> ・仕様書及び事業計画に沿った適切な管理運営が行われている。 ・新型コロナウイルス感染防止対策のため通常とは異なる業務を行う必要があった中で、県と協力し適切に運営が行われている。 ・コロナ禍において、SNSで科学に係る発信を行い、子供たちが科学に触れ合う機会を提供できるよう努めている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	年間の来館者は45,033人とコロナの影響がなかった平成30年度と比較すると80.1%の大幅な減少となってしまいました。(昨年度に対しては10,750人増)これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した結果でありやむを得ないと考えています。当面は、感染防止対策を確実にやっていくことを第一とし、感染の推移を見守りながら、県と意思疎通をはかり、適切な館の運営に努めます。 ボランティアは、高齢者が多いことにより感染拡大期の自粛を含め、無理のない、安全なボランティア活動を行ってきましたが、コロナ禍をきっかけに登録を取り下げるボランティアが増え、今後、新規登録者の呼びかけが必要となっています。 施設設備等の維持・管理においては、経年劣化により故障等の発生が頻繁になっています。また、施設の汚れが目立つ箇所も増えてきています。壁面や丸柱の汚れ、高所のホコリなども具体的な計画が必要です。あわせて、事務室が狭隘化しており、食事や打合せに使用できるスペースもありません。新型コロナウイルス感染症対策としても事務室とは別の場所で食事をとることが望ましく検討が必要です。	<<課題等の原因分析>> ・新型コロナウイルスの流行前と比較すると、昨年度の来館者数は著しく減少していることから、来館者の減少した原因については指定管理者の分析したとおりである。 ・一方で、臨時休館の期間は昨年度より増えているものの、入館者数は増加しており、これは指定管理者の努力によるものである。 ・ボランティアスタッフの登録者数について、高齢者は重症化リスクが高いと言われており、スタッフの意向を優先したものであるため、仕方がないものとする。 ・施設開館から20年以上が経過しており、リニューアルをした2階以外のフロアについては、設備や展示物の老朽化が進んでいる。	
課題、問題点への今後の対応	・来館者や職員等の安全を第一に考えた上で、ポストコロナを見据え、感染防止対策とイベント等の開催を両立し、来館者数が増えるように取り組んでいく必要がある。 ・展示物だけではなく、施設設備も開館当初から設置しているものも多い。そのため、日々の点検により故障箇所を迅速に見出し、修繕の必要性や優先順位を見極め、計画的に修繕や更新を進めていく必要がある。		

## 2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	3月に来館者100名にアンケートを実施しました。新型コロナウイルス感染防止対策については、「徹底している」と「まあまあ」を合わせて99%で、良い評価をいただきました。職員の対応と展示物の清潔感、どちらも「良い、はい」が80数%で、「ふつう」を合わせると100%で、良い評価をいただきました。休館日は「今のままで良い」が97%、開館時間は「今のままで良い」が95%で、現段階で変更の必要はないと考えています。今後、充実を希望する展示分野は複数回答で、宇宙が一番多く、ロボットがそれに続いています。展示物や科学アイテムをすぐに増やすことは困難ですので、関係団体等との連携によるイベントや企画展示等の充実を図りたいと考えています。	評価  B	<<評価の理由>> ・来館者にアンケートを実施し、利用者の意見・要望等の把握に努めており、肯定的な評価を得ている。
意見・要望等への今後の対応	今後も来館者へのアンケートを基に、ニーズを的確に把握し、モノづくり企業や関係団体との連携を図りながら、サービスの向上に努めていく。		

3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	安心感をもって見学してもらうことを第一として、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努めました。動画で「科学道100冊ジュニア館長のおすすめ」を配信したことや、関係団体のイベント等が中止となる中、自らの企画展示で工夫をしながら子どもたちに科学や産業に触れ合う機会を提供できたことは、成果と言えるのではないかと考えています。	評 価	<<評価の理由>> ・来館者が安心感を得られるよう、感染対策の徹底を行っている。 ・来館できない方のために動画の配信により科学に触れ合う機会を提供している。
		A	
② 経費の節減	節電やコピー用紙の削減に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策と節水対策でトイレ等の手洗い水栓13台をセンサー式自動水栓へ交換しました。また、ダウンライト32灯のLED化を実施しました。	評 価	<<評価の理由>> ・これまでの施設運営管理のノウハウを活かし、感染症対策を行いながら、経費の節減に努めている。
		A	
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	コロナ禍も、感染対策を行った上で可能な限り経済活動を元に戻していくことが必要と考えられる社会情勢となってきました。館としても感染症の推移を注視しながら、感染対策を行った上で、可能な限り制限を緩和し、利用者数を増やしていくことも重要と考えています。制限緩和で入口を増やす際に必要となるAI体温測定器1台の購入を行いました。	評 価	<<評価の理由>> ・ポストコロナを見据え、現在行っている制限を緩和し、利用者を増やすための方策について検討・実施している。
		B	
総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括協定書に定める管理・運営業務について、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常とは異なる対応を求められることが多かったが、迅速かつ柔軟に対応している。</li> <li>・利用者のニーズに応じたイベントの開催、及び来館できない方のためのサービス向上を行っており、産業科学館の魅力向上につながる管理運営に努めている。</li> <li>・オープンから20年以上が経過し、施設や展示物の老朽化が目立ち、維持管理の負担が大きくなってきているなか、設置者である県と協力し、費用対効果を踏まえながら、適切な対応に努めている。</li> </ul>		

## 【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。